

(様式3)

農業研究成果情報

No. 784 (平成 29 年 5 月) 分類コード 01-11 熊本県農林水産部

イタリアンライグラス「ヤヨイワセ」「うし想い」「ゼロワン」「タチュウカ」の
熊本県における品種特性

「ヤヨイワセ」、「うし想い」、「ゼロワン」及び「タチュウカ」は、多収性及び耐病性に優れ、熊本県におけるイタリアンライグラス品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室 (担当者：北川まき)

研究のねらい

本県におけるイタリアンライグラスについて、新たな優良品種の早急な普及を図る目的で、数年以内に市販開始予定の新品種を中心に収量性やその他の諸特性について調査し、本県の奨励品種である極早生品種「さちあおば」、早生品種「ワセユタカ」及び「優春」を比較品種として、これと同等以上の能力を有する品種を選定する。

研究の成果

1. 極早生品種の「ヤヨイワセ」は10月中旬に播種した場合、3月末に刈取りできる。早生品種の「うし想い」、「ゼロワン」及び「タチュウカ」は10月中旬に播種した場合、4月中旬に刈取りできる。
2. 「ヤヨイワセ」、「うし想い」、「ゼロワン」及び「タチュウカ」の病害への抵抗性は、比較品種と同程度以上である(表1)。
3. 「ヤヨイワセ」、「うし想い」、「ゼロワン」は、比較品種と同程度の耐倒伏性が期待できる。「タチュウカ」は、比較品種と同等以上の耐倒伏性が期待できる(表2)。
4. 「ヤヨイワセ」、「うし想い」、「ゼロワン」及び「タチュウカ」は、比較品種と同等の乾物収量が期待でき、本県におけるイタリアンライグラスとして有望である(表2、図1)。

※比較品種：過去3年間の試験データに基づき、熊本県で奨励品種に指定されている品種

普及上の留意点

1. 生育状況および収量については気象・土壌環境の変化による影響を受けるため、施肥管理や適正な時期における播種を徹底すること。

表1 イタリアンライグラスの生育及び病害抵抗性の概要(H26~28の平均値)

早晩性	品種	系統名	発芽良否	定着草勢	播種~出穂始日	刈取時出穂程度		草丈 cm		いもち病程度	
			1-9極良	1-9極良	日	1番草	2番草	1番草	2番草	1番草	2番草
極早生	さちあおば(比較)		6.0	6.2	155.3	5.8	5.4	109.0	77.0	1.2	1.0
	ヤヨイワセ	SI-13	6.2	6.1	155.3	5.7	6.0	106.6	75.9	1.2	1.0
早生	ワセユタカ(比較)		7.0	6.4	175.7	5.9	6.1	127.8	86.7	1.1	1.0
	優春(比較)		6.9	6.2	171.7	6.4	6.8	130.5	88.8	1.1	1.0
	うし想い	JFIR-20	6.7	5.5	171.3	6.0	6.8	139.0	88.3	1.0	1.0
	ゼロワン	LN-IR01	7.2	6.8	170.7	5.7	6.3	137.5	87.0	1.0	1.0
	tachuwaka	LN-IR02	6.9	5.9	172.3	6.3	6.8	131.8	87.7	1.0	1.0

1) 数値は調査年の平均

表2 イタリアンライグラスの収量性と倒伏性の概要 (H26~28の平均値)

早晩性	品種	系統名	生草収量 kg/a			乾物収量 kg/a			倒伏程度 1-9甚	
			1番草	2番草	総生草収量	1番草	2番草	総乾物収量	1番草	2番草
極早生	さちあおば(比較)		824.9	177.1	1002.0	102.4	23.4	125.8	2.8	1.0
	ヤヨイワセ	SI-13	767.0	215.6	982.6	96.7	28.4	125.1	2.3	1.0
早生	ワセユタカ(比較)		932.6	229.4	1162.1	115.0	30.4	145.4	5.5*	1.7
	優春(比較)		893.9	250.1	1144.0	116.8	33.9	150.7	4.3	1.1
	うし想い	JFIR-20	899.6	227.1	1126.7	120.1	32.0	152.0	4.1	1.0
	ゼロワン	LN-IR01	902.7	233.8	1136.5	121.0	31.8	152.9	4.4	1.0
	tachuwaka	LN-IR02	928.0	238.9	1166.9	121.0	33.2	154.2	3.9*	1.0

1) 数値は調査年の平均

2) * 間には5%水準で有意差あり(t検定)

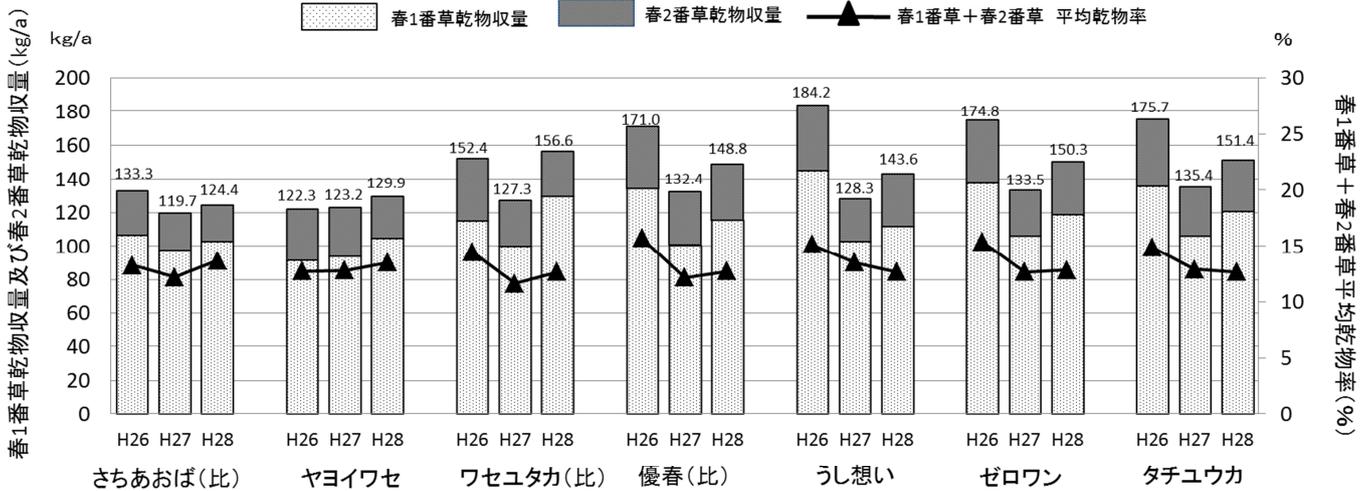


図1 品種ごとの3カ年の茎葉乾物収量・雌穂乾物収量及び総乾物率